

4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動・社会教育の推進

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和7年度 実行宣言			
・令和8年度から、地区市民センターと地区公民館を地域の拠点となるコミュニティセンターとして位置付け、その役割を一層充実させていくことをめざします。そのため、関係部署と緊密に協議を行い、効率的かつ効果的な組織体制の構築を進めます。 ・住民自治協議会が管理運営するセンターを令和9年度に10地区以上をめざします。さらに、市民に対し、コミュニティセンター化に関する情報を広く発信していきます。			
↓			
令和7年度 評価	☆評価		☆☆☆☆
・令和7年度は、6月議会において既存の36施設をコミュニティセンターとして位置付ける条例改正を行い、従前の施設と合わせて39施設体制としました。あわせて教育委員会等の関係部署と協議を重ね、令和8年度以降の円滑な運用に向けた基盤を整備しました。 その結果、令和8年度より8地区において住民自治協議会による指定管理を開始する運びとなりました。令和9年度に向けては、新たに4地区から指定管理の申し出を受けており、目標である『10地区以上』の達成に向け、着実に取り組みが進んでいます。今後は、コミュニティセンター化の意義や詳細について、市民への周知・広報活動をさらに強化してまいります。			
↓			
令和8年度 実行宣言			
・令和8年度から、39施設がコミュニティセンターとなり8施設で住民自治協議会による指定管理となった。今後、コミュニティセンターの役割を一層充実させていくことをめざします。そのため、効率的かつ効果的な組織体制の構築を進めます。 ・住民自治協議会が管理運営するセンターを令和9年度に10地区以上をめざします。さらに、地域運営の持続可能性を高めるため、住民自治協議会の組織体制のあり方について協議を進めてまいります。			

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則		
令和7年度 実行宣言			
・松阪市民公民館運営基本方針(仮称)の策定をし、主要5公民館の連携と各地域でおこなわれる生涯学習の支援体制を整えます。 ・各地区の青少年健全育成会の組織体制について、現状を再確認し、必要に応じ見直しを行います。			
↓			
令和7年度 評価		☆評価	☆☆☆
・松阪公民館を事務局とし、5公民館が住民自治協議会の生涯学習活動に対する支援を行う体制づくりとして、「生涯学習推進連絡会議」を設置し、地区コミュニティセンター移行後も引き続き生涯学習活動が活発に行うことができる体制を構築しました。 ・各地区の青少年健全育成会については、特に嬉野管内で地区公民館が事務局を担っていたこともあり、各公民館と今後の組織体制について協議を行いました。			
↓			
令和8年度 実行宣言			
・趣味クラブ・サークルに対する応益負担の在り方については、より具体的な取り組みに関して市民意識調査等を実施し、多くの市民の意見を踏まえ、生涯学習の充実を図る観点から、趣味クラブ・サークル活動の在り方も含め関係機関と協議を行っていきます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	指定管理者制度導入コミュニティセンター数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	3.0 地区	3.0 地区	8.0 地区	10.0 地区	
	実 績	1.0 地区	3.0 地区	3.0 地区	— 地区	— 地区	
	評 価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めていきます。					
数値目標 ②	項 目	地域づくり活動への参加率				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	51.0 %	55.0 %	57.5 %	60.0 %	
	実 績	50.4 %	51.2 %	49.5 %	— %	— %	
	評 価	—	S	E	—	—	
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の支援と充実を図ります。					
数値目標 ③	項 目	市民活動センター活動団体の新規登録者数				目標種別	→
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	20団体/年	20団体/年	20団体/年	20団体/年	
	実 績	20団体/年	25団体/年	22団体/年	—	—	
	評 価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	市民活動団体の活動の支援と活性化を図ります。					
数値目標 ④	項 目	講座開設数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	950 講座	970 講座	990 講座	1,000 講座	
	実 績	941 講座	938 講座	1,084 講座	— 講座	— 講座	
	評 価	—	E	S	—	—	
	今後の方針	講座開設については、ICT機器を活用し主催以外の公民館でも受講できる体制を作ります。					
数値目標 ⑤	項 目	公民館講座満足度				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	87 %	88 %	89 %	90 %	
	実 績	86 %	83 %	99 %	— %	— %	
	評 価	—	E	S	—	—	
	今後の方針	住民ニーズに沿った講座開設に努めていきます。					
数値目標 ⑥	項 目	図書館の電子図書の貸し出し人数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	1,200 人	1,500 人	1,800 人	2,000 人	
	実 績	1,143 人	1,223 人	1,218 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	E	—	—	
	今後の方針	電子図書の蔵書数を常時15,000タイトル以上保持していきます。					
関係所属							
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局、生涯学習課							

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和7年度 実行宣言			
・松阪市香肌地域づくり協同組合との強力なパートナーシップを維持し、人材派遣を拡大することで、地元企業と連携した新たな雇用の創出に努めます。また、空家バンク制度の利用を推進し、移住者への適切なアドバイスやサポートを提供し、安心して移住できる環境を整えます。さらに、地域おこし協力隊において、中山間地域の魅力に関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やす取組を行います。また、トレイルラン大会やその他の地域資源を活かしたイベントの企画・実施を通じて、地域の魅力を発信します。 ・過疎地域移住定住土地活用事業において、飯高町宮前の土地を造成し、移住者・定住者向けの住宅用地等として有効活用していきます。			
↓			
令和7年度 評価	☆評価		☆☆☆
・松阪市香肌地域づくり協同組合の職員4名を派遣し、組合員である管内事業所7者の事業維持・向上に貢献しました。また、同組合が運用する空家バンク業務においても、増加する移住希望者への丁寧な対応を通じて、移住・定住の促進を強力に推し進めました。 ・地域おこし協力隊については、地域の伝統文化の発信に加え、モルックなどのニユースポーツを通じた交流により、地域活性化と住民の健康増進を図りました。あわせて、トレイルラン大会やサイクリング大会を主催し、多様な地域資源を活用した魅力発信に取り組みしました。 ・過疎地域移住定住土地活用事業においては、飯高町宮前の用地造成を進め、移住・定住者向けの受け皿となる基盤整備を推進しました。			
↓			
令和8年度 実行宣言			
・松阪市香肌地域づくり協同組合との連携をさらに強化し、地域産業の維持・発展に向けて派遣職員の増員を図るとともに、地域と一体となった空き家バンク業務を推進し、中山間地域への移住・定住促進に取り組みます。 また、地域おこし協力隊への活動支援および『道の駅 飯高駅』との連携を深め、地域活動や伝統文化の積極的な発信を通じて、中山間地域の魅力を高め、移住人口および交流人口の拡大を図ります。 ・過疎地域移住定住土地活用事業においては、ホームページ等による周知に加え、同組合や協力隊との連携、関係部署間の情報共有を徹底し、宮前地区における宅地分譲販売を着実に推進します。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	空家バンク成約世帯数(累計)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	156 件	176 件	196 件	216 件	
	実 績	136 件	164 件	185 件	— 件	— 件	
	評 価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	松阪市香肌地域づくり協同組合と連携し、空き家バンク制度を活用して移住者の増加を目指します。					
数値目標 ②	項 目	香肌地域づくり事業協同組合 派遣労働者数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	2 人	3 人	5 人	5 人	
	実 績	0 人	2 人	4 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	組合員への人材派遣を通じて、担い手不足に悩む事業所の支援と、移住希望者の定職・定住の促進を図ります。					
数値目標 ③	項 目	観光施設の宿泊者数(飯南・飯高地域)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	19,704 人	20,136 人	20,568 人	21,000 人	
	実 績	19,272 人	21,410 人	21,045 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	S	—	—	
	今後の方針	地域資源の活用と情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。					

関係所属
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

4. 人も地域も頑張る力 ③ 文化の振興

評価者	産業文化部長 岡田 久	
令和7年度 実行宣言		
・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や市制20周年記念事業等を関係部署と連携しながら、進めていきます。また、令和6年度に改修した市民文化会館の利用を促進し、市民が文化芸術に触れることができる機会を創っていきます。		
↓		
令和7年度 評価	☆評価	☆☆☆
・文化活動の推進に対する市民満足度は17.3％となり、目標値18％を0.7ポイント下回りました。令和6年度調査では、三井家関係や小津安二郎に関する周年事業の効果により高い満足度を得ましたが、令和7年度はその反動が調査結果に影響したものと評価しています。一方で、市制20周年記念事業を多数実施し、国宝船形埴輪を中心としたはにわ館企画展では多くの入館者を記録するなど、着実な成果を上げることができました。		
・3館の利用率は75.8％となり、目標の83％に対して7.2ポイント届きませんでした。しかし、コロナ禍以降、徐々に活動再開や公演の実施が進む中で利用率も回復傾向を示し、営利目的の貸館利用などを含め、現在は過去3年間で75％から76％台の水準を維持しています。さらに目標に近づくためには、新たな貸館利用の獲得が課題と考えます。		
・文化財施設を訪れる児童(小学生)については目標を達成したが、生徒(中学生、高校生)については目標に達しませんでした。子ども向けワークショップや展示を通じての学習により、「児童」が文化財に親しむ機会を提供することはできましたが、一方で「生徒」向けプログラムの展開が集客に結びついていなかったことから、内容を見直す必要があります。		
↓		
令和8年度 実行宣言		
・クラギ文化ホールなど文化施設において、あらゆる世代の市民が文化芸術や歴史文化に触れることができる機会を創っていくことで、利用率及び催物の満足度の向上に取り組みます。		
・旧長谷川治郎兵衛家および松坂城跡の保存整備について、整備検討委員会をはじめ文化庁・県教育委員会等との調整を密に行いながら着実に実施を進めるとともに、工事期間中においても入館者・来訪者数の維持に努めていきます。		

施策の進捗状況						
数値目標①	項目	文化活動の推進に対する市民満足度				目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久				↑
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	17.0 %	18.0 %	19.0 %	20.0 %
	実績	16.6 %	30.0 %	17.3 %	— %	— %
	評価	—	S	C	—	—
	今後の方針	市民が郷土の文化財に愛着や誇りが持てるよう、魅力のある企画展や情報発信を積極的に行っていきます。また、教育や観光等他分野との連携を進めていきます。				
数値目標②	項目	松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率(3館合計利用日数/3館合計開館日数)				目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久				↑
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	82.0 %	83.0	84.0 %	85.0 %
	実績	75.1 %	76.7 %	75.8 %	— %	— %
	評価	—	E	E	—	—
	今後の方針	クラギ文化ホールなどの会館において、魅力ある自主事業を展開するなど、より一層の施設利用を促進し、市の文化振興を図っていきます。				
数値目標③	項目	過去一年間に学校以外で文化財施設に一回以上行ったことのある児童生徒の割合				目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久				↑
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	児童 71 % 生徒 61 %	児童 72 % 生徒 62 %	児童 73 % 生徒 63 %	児童 75 % 生徒 65 %
	実績	児童 70 % 生徒 62 %	児童 81 % 生徒 61 %	児童 77 % 生徒 53 %	児童 — % 生徒 — %	児童 — % 生徒 — %
	評価	—	S	A	—	—
	今後の方針	これからの文化の担い手となる子どもが参加しやすい企画展示や講座等を開催します。				

関係所属
文化課

4. 人も地域も頑張る力 ④ スポーツと運動したまちづくりの推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則		
令和7年度 実行宣言			
・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように取り組みます。 ・「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」では市制20周年記念事業の「ダンスドリームプロジェクト」をEXILEのメンバー等のサポートを得て、市内公立中学校の保健体育のダンス授業で取り組みます。 ・みえ松阪マラソン2025については、定員を1.3万人の参加を得るため、初マラソン挑戦推進の取り組み、SDGs、公式イメージソングの発表、インフルエンサー等の情報発信、市制20周年記念事業の一環としてスペシャルサンクスパレード開催に取り組みRUNNETによる12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で3年連続第1位をめざします。			
令和7年度 評価		☆評価	☆☆☆☆
・みえ松阪マラソン2025大会に向けて、ランナーエントリー開始の告知と併せて市制20周年記念事業の一環として、みえ松阪マラソンの開催を支えていただいている市民の皆様に感謝の意を込めた「みえ松阪マラソンスペシャルサンクスパレード」を開催し6万人が来場しました。 ・みえ松阪マラソンについては、第4回大会を12月21日に開催し12,280人の参加があり、雨天での開催ということもありRUNNETでは12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で第3位との評価でしたが、関連イベントを含め約15億円の経済波及効果がありました。 ・ダンスドリームプロジェクトについては、市内のすべての公立中学校が参加し、56クラス約1,750人の生徒がEXILE TETSUYA氏監修のDVD教材を活用してダンス授業を実施しました。さらにダンス授業の成果発表の場として、ダンスドリーム交流会を開催しました。プロジェクトに参加した生徒を対象としたアンケートでは「仲間と取り組むことの達成感を感じた」が88%と高くプロジェクトの目的を達成することができました。 ・ダンスドリームプロジェクト、夢の学校、みえ松阪マラソンなど中学生を対象とした取り組みを「夢の循環プロジェクト」としてプロジェクト化し子どもたちの夢を育むきっかけを創出できるよう取り組みを進めてきたことがスポーツ庁より評価され、「スポーツ・健康まちづくり」優良自治体表彰2025を受賞することができました。			
令和8年度 実行宣言			
・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように取り組みます。 ・みえ松阪マラソン2026大会については、第5回記念大会としてフルマラソンの部10,000人、5kmの部1,000人、健康ウォークの部2,000人と参加人数を設定し、PR活動等に積極的に取り組みます。 ・松阪市総合体育館の大規模改修に伴う実施設計業務については、令和8年7月を目途に委託し、令和9年度に工事着工できるよう取り組みます。 ・中部台テニスコートのGコートについては、3X3バスケットコートに変更するにあたり、利用者に対し周知期間をできる限り設けながら、3X3バスケットコートが令和9年4月1日からスタートできるよう工事着工に取り組みます。 ・松阪公園プールは令和8年中に解体し、跡地活用(駐車場利用)に取り組みます。 ・市のスポーツ振興を図るため、スポーツ激励金交付対象者が増えるよう、各種スポーツ団体等に働きかけます。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項目	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度				目標種別 ↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	3.02 /5	3.05 /5	3.08 /5	3.10 /5
	実績	3.00 /5	3.36 /5	3.05 /5	— /5	— /5
	評価	—	S	S	—	—
	今後の方針	スポーツ施設長寿命化計画に基づき、スポーツ施設の充実に本格的に取り組みます。				
数値目標 ②	項目	スポーツボランティアへの参加意欲				目標種別 ↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	33.0 %	33.6 %	34.2 %	35.0 %
	実績	32.4 %	32.4 %	26.5 %	— %	— %
	評価	—	E	E	—	—
	今後の方針	みえ松阪マラソンを核とし、多くの市民の方々にボランティア参加への魅力向上に努めます。				

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況						
数値目標 ③	項 目	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価				目標種別
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	85.0 点	85.0 点	85.0 点	85.0 点
	実 績	80.9 点	86.9 点	84.2 点	— 点	— 点
	評 価	—	S	B	—	—
今後の方針		新たな視点の取組により、より完成度の高い大会をめざします。				

関係所属
スポーツ課、清掃事業課

4. 人も地域も頑張る力 ⑤ 人権尊重・多様性社会の推進

評価者	環境生活部長 下倉 基彦		
令和7年度 実行宣言			
・「松阪市市民意識調査」の調査結果をもとに、男女共同参画社会に実現に向けた施策の指針とする「松阪市男女共同参画プラン」の改定を進めます。 また、人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。			
			
令和7年度 評価			☆☆☆☆
・政府による男女共同参画基本計画を踏まえながら、「松阪市男女共同参画プラン」改定に関する作業を進めることができました。 また、講演会・フォーラム・街頭啓発など人権・多様性社会の推進に向けた啓発活動を実施することができました。			
			
令和8年度 実行宣言			
・人権問題についての正しい理解と認識を深めていただき、あらゆる差別をなくすため継続して啓発事業を実施していきます。 ・松阪市に住む外国人へのサポート充実を図ります。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合				目標種別 ↑
	評価者	環境生活部長 下倉 基彦				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	85.0 %	85.0 %	85.0 %	85.0 %
	実 績	33.1 %	— %	53.0 %	— %	— %
	評 価	—	—	D	—	—
	今後の方針	市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、すべての人々が希望と誇りをもって社会参加できる地域社会に向けて啓発活動を実施していきます。				
数値目標 ②	項 目	市役所利用者の通訳満足度				目標種別 ↑
	評価者	環境生活部長 下倉 基彦				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	70.0 %	70.0 %	70.0 %	70.0 %
	実 績	— %	— %	100.0 %	— %	— %
	評 価	—	—	S	—	—
	今後の方針	外国人住民に対し、通訳者を配置し母語による生活情報等の提供や説明、市窓口業務の支援を行い住民サービスの充実に努めます。				
数値目標 ③	項 目	家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合				目標種別 ↑
	評価者	環境生活部長 下倉 基彦				
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	50.0 %	50.0 %	50.0 %	50.0 %
	実 績	28.7 %	29.3 %	28.0 %	— %	— %
	評 価	—	E	E	—	—
	今後の方針	家庭生活において、性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。				

関係所属
人権・多様性社会課